

「地域課題分野」(平成28年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
流域における河川水温の時空間構造変化と生態系の応答に関する研究 (研究期間：H28年～H29年)	山口大学 赤松 良久	A
<研究概要> 河川水温は、河川生態系の生物群集構造や、生物生産力を左右する重要な要素であるにもかかわらず、日本の河川における河川水温の連続的なモニタリングは行われていないため、各河川における水温の現状は明らかにされていない。本研究では、中国地方の3水系において、河川水温の時空間構造モニタリング・解析を実施し、環境DNAを用いた魚類量の高時空間解像度モニタリングを行うことによって、河川水温変化に対する生態系の応答を明らかにした。		
<事後評価コメント> 水温を河川環境の最重要指標と位置付けて、流域ベースの広域的な調査を実施し、流域規模の河川環境管理の手法を提案していることから、研究目的は達成され十分な成果があったといえる。今後、水温以外のコントロール因子の関連性についても考慮したさらなる研究の進展を期待する。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとはいえない